

ワイン県 副知事紹介



[作家]
林真理子さん
(令和元年10月8日に就任)

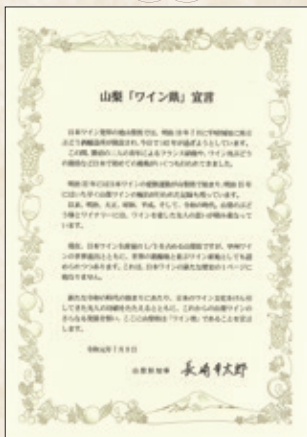
林真理子さんは、日本ソムリエ協会が授与した「名誉ソムリエ」の称号を持つなど、ワイン愛好家として名高く、また、以前より親交のある著名人に県内のワイナリーをご紹介いただくなど多大な貢献をいただいています。「故郷のために役立つなら」とワイン県副知事就任をご快諾いただきました。



[ソムリエ]
田崎真也さん
(令和元年11月3日に就任)

田崎真也さんは、世界最優秀ソムリエコンクールで優勝するなど、日本を代表するソムリエであり、東京日本橋にある本県アンテナショップ「富士の国やまなし館」及び併設のレストラン「Y-wine(ワイワイ)」を運営していただいている縁から、ワイン県副知事に就任いただきました。

山梨「ワイン県」 宣言書



Wine Prefecture Yamanashi

お問い合わせ



ワイン県について

山梨県観光部
観光プロモーション課
☎055-223-8876

観光について

公益社団法人
やまなし観光推進機構
☎055-231-2722

ワイン県やまなしの取り組みは
ウェブサイトでもご確認いただけます。



ワイン県 やまなし



日本ワイン
発祥の地

日本ワイン生産量・ワイナリー数

日本一



なぜ山梨県は ワイン県 なの？

山梨県は、ワイン醸造に関する歴史、生産量やワイナリー数、世界に認められた品質の高さなど、あらゆる面で我が国のワイン産業をリードしてきました。

甲州ワインの歴史

- 【明治】1870年 甲府の山田有教と詫間憲久が山ぶどうと甲州ぶどうからワインを生産。
- 1877年 勝沼に大日本葡萄酒会社が創設。高野正誠と土屋龍憲をワインづくり研修でフランスへ派遣。
- 【昭和】1979年 勝沼町ワイン原産地認定制度が条例化。
- 1984年 食事と相性がよい辛口が求められるようになり、やや甘口のフレッシュ＆フルーティからスタイルを転換。シュール・リー製法を用いた最初のワインがリリースされる。
- 1987年 勝沼の中小12ワイナリーにより、勝沼ワイナリースクラブ発足。シュール・リー製法が一般化。
- 【平成】2003年 ボルドー大学の研究により、甲州ぶどうに柑橘系の香りの前駆体である3MH(3メルカプト・ヘキサノール)が発見される。
- 2004年 カリフォルニア州立大学デイヴィス校が甲州のDNA鑑定を実施。ヴィティス・ヴィニフェラの系統と判明。
- 2005年 アメリカの世界的なワイン評論家、ロバート・パーカーJrが甲州ワインを初評価。
- 2009年 山梨県内のワイン生産者15社を中心に、KOJ(Koshu of Japan)が発足。甲州ワインの品質向上と世界進出を目指す。
- 2010年 ION(国際ブドウ・ワイン機構)が甲州をブドウ品種として登録。同年甲州市原産呼称ワイン認定制度が施行される。
- 2013年 日本のワイン産地として初めて、国税庁長官から地理的表示「山梨」(GI Yamanashi)の指定を受ける。

甲州ぶどうとは

わが国で1000年以上の歴史を持つとされる日本固有のぶどう品種

甲州ぶどうの祖先はヨーロッパが起源。人類の東西交易とともにシルクロード経由で日本に上陸したのだとか。国内における甲州ぶどう発見説には以下2つの説があります。

1. 行基説

奈良時代の高僧行基(ぎょうき)が修業中、夢枕に立った右手にぶどうを持つ薬師如来の姿を木彫りにして今日の柏尾山大善寺に安置したところ、ぶどうの樹を発見。これを薬草として育てたのち村人にも広まり、「甲州」となった説。

2. 雨宮勘解由説

勝沼の雨宮勘解由(かげゆ)が自生の山ぶどうと異なる蔓(つる)植物を発見。自宅に持ち帰り植えたところ、5年後にやっかと結実した種が「甲州」であったという説。

甲州ぶどうの主な産地、それは山梨

山梨県での栽培面積は2015年実績399haと全国一位。これは山々が雨雲をはばみ日照量の多い山梨の気候風土が甲州ぶどうの生育に適しているからにはかなりません。甲州市を中心に、山梨市、笛吹市、南アルプス市、韮崎市、甲府市などで、農家のみなさんが手間ひまかけて質の高いぶどうを作っています。



Wine Prefecture 山梨県産ワイン品質向上の様々な取り組み

日本ワインコンクール

2003年7月、国産ぶどうを100%使用し日本国内で醸造された「日本ワイン」の品質向上と消費拡大を目的に、山梨県が中心となって準備を進めてきた「国産ワインコンクール」(現:日本ワインコンクール)第1回審査会が開催されました。以後毎年1回、山梨県において開催されています。第1回から第16回(2018年)までの金賞受賞本数は山梨県産が最多となっています。



ロンドンプロモーション

2010年7月、KOJ(Koshu of Japan)を設立。日本固有のぶどう品種「甲州」から造られる甲州ワインの世界市場における認知度を向上させるため、世界のワイン市場の中心地ロンドンにおけるプロモーションを開始しました。



地理的表示「山梨」

2013年7月、国税庁告示により、ワインで初めて地理的表示(GI: Geographical Indication)「山梨」が指定されました。

日本ワイン生産量日本一

全国17,663キロリットルのうち
山梨県5,530キロリットル
(シェア31.3%)



ワイナリー数日本一

全国303箇所のうち山梨県内に81箇所
データ:平成31年2月 国税庁発表
「国内製造ワインの概況(平成29年度調査分)」

甲州ワインの豆知識

Q. 甲州ワインとはどのようなワイン？

A. 甲州ぶどうを原料に造られるワイン。

「甲州ワイン」の甲州は地域名ではありません。この甲州とは、約1000年もの歴史を持つ日本古来のぶどう品種「甲州」のことで、この甲州ぶどうから造られたワインを、「甲州ワイン」というのです。

Q. 甲州ワインとは「赤」「白」どちらのワイン？

A. 白ワイン。

甲州ぶどう自体は紫がかったピンク色。しかし、果汁はほぼ無色透明で、通常、この果汁のみからワインを造るため、甲州は「白ワイン」なのです。時折、ほんのりと色づくことはありますが、決して赤ワインにはならないのが特徴です。

